

遠野市監査委員告示第2号

平成28年2月8日

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員	佐藤	サヨ子
遠野市監査委員	佐々木	資光
遠野市監査委員	瀧本	孝一

## 平成 27 年度定期監査結果報告書（後期）

### 1 監査の目的

定期監査は、地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づき平成 27 年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が、同法第 2 条第 14 項及び第 15 項の趣旨に則り合理的かつ効率的に行われているかどうかを目的に実施した。

### 2 監査の期日及び対象

平成 28 年 1 月 8 日から同年 1 月 27 日までに延べ 7 日、26 課等を監査した。

月 日	対 象 課 等
1 月 8 日	市民協働課、生涯学習スポーツ課、国体開催推進室
1 月 13 日	鱒沢小学校、小友小学校、宮守小学校、達曾部小学校
1 月 15 日	遠野北小学校、綾織小学校、綾織地区センター、松崎地区センター
1 月 18 日	小友地区センター、宮守地区センター、遠野西中学校
1 月 22 日	学校教育課、教育研究所、子育て総合支援課、遠野地区センター
1 月 25 日	青笹地区センター、上郷地区センター、土淵地区センター 附馬牛地区センター
1 月 27 日	学校給食センター、教務課、調査研究課、文化課

### 3 監査の手順

(1) 事前に監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

(2) 法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の用途は交付の趣旨に合致しているか等について監査した。

(3) 所管事務の執行状況

32 の事務事業について、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているかを主眼として監査した。

(4) 共通事項

- ア 各課で該当する分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入
- イ 現金等の保管状況
- ウ 郵便切手類の保管及び受払
- エ 物品の管理及び出納
- オ 車両の運行管理

### 4 監査の結果

各課等で所管する事務事業から抽出した予算執行及び事務事業並びに共通事項を監査した結果は、おおむね適正に手続きが行われていたが、改善を望む事項については監査対象ごとの監査の結果「指摘事項」「意見・要望」に記載した。

なお、事務処理上の書類の不備及び軽微な事項については、その都度関係職員に対して口頭で指摘をし、改善を要請したので記述を省略する。

## 監 査 結 果

### 【所管事務の執行状況及び意見等】

#### 1 市民協働課

所管事務は、市民センター及び地区センターの事務及び事業の総合調整に関すること、市民憲章運動に関すること、自治組織その他の地域活動の育成及び支援に関すること、市民協働の啓発及び普及に関すること、交通対策及び交通安全対策の総合的な企画、調整及び推進に関すること、消費者の保護及び消費生活相談窓口に関すること、市民センター施設の整備及び管理並びに利用の許可に関すること等である。

#### ○みんなで築くふるさと遠野推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市民協働の理念に基づき、地域の特性を活かし創意と工夫を凝らした特色あるふるさとづくりを推進するため、市内の地域づくり連絡協議会、自治会その他の団体等が行う事業・活動に要する経費に対して補助金を交付している。昨年の指摘事項については事務取扱要領をよりわかりやすい形に改善するなど、事業実施内容の徹底努力がなされていた。また、地域が柔軟に活用できる交付金制度を検討していることは評価したい。

#### ○地域おこし協力隊設置事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

地域力の維持及び強化を目的に、地域活動推進の担い手として都市住民など地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を促進する事業の一環として、市の非常勤職員として2名（12月末現在）を採用し、農家支援と地域活性化支援を中心に地域づくり活動に取り組んでいる。地域おこし活動に意欲的な人材の定住・定着については、これまでの本事業における成果・課題を分析し、それが更に今後の展開に反映されることを望む。

#### 2 生涯学習スポーツ課

所管事務は、生涯学習の推進に関すること、男女共同参画社会の推進に関すること、高齢者団体の育成並びに高齢者の教養及び健康づくり活動に関すること、青少年の育成及び指導に関すること、勤労青少年ホームの管理運営に関すること、少年センターの運営に関すること、健康づくりに係る事業の総合調整に関すること、市民の健康づくり総合プログラムの推進に関すること、生涯スポーツ施設に関すること、芸術文化振興に関すること、文化財の指定等に関すること等である。

## ○放課後子どもプラン推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成19年度から事業を開始し、市内全小学校で「家庭学習の習慣化」を目的に、学習アドバイザー(19名)、安全管理員(20名)の見守りのもと、児童が放課後子ども教室で宿題や自主学習に取り組んでいる。なお、教室開催は地域並びに学校の実情等に応じて学校、地区センター、児童館で行われており、平成27年11月末現在の開催日数は502日(1教室平均45日)延べ12,793人の児童が利用しており、小学生の学力向上の一助になっている。今後は教育委員会と連携し各小学校の「まなびフェスト」における位置づけもより明確にする方向で、事業を展開されたい。

## ○生涯学習のまちづくり推進費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

「市民協働で取り組むまちづくり」を目的に、生涯学習講座、少年少女ふるさと発見探偵団、ふれあい囲碁・将棋教室、遠野市民センターバレエスタジオ、遠野市民芸術祭等の事業を遠野市教育文化振興財団に委託している。また、各地区センターが主催する講座等に要する講師報酬、消耗品費等を支出している。

財団への委託事業に関しては各内容の詳細な協議を行った上で、財団の自主的事業、歳入確保、基金のあり方等について踏み込んだ議論が必要と思われる。

各地区センターの事業監査結果については、P8「12 地区センター(地区公民館)」に記述する。

## 3 国体開催推進室

所管事務は、第71回国民体育大会の開催準備の総合的な企画及び調整に関すること、国体の競技施設の整備及び管理に関すること、競技運営に関すること、その他国体に関することである。

## ○岩手国体準備事業費(国体競技別リハーサル大会仮設設備設営委託料等)

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年10月に遠野市で開催される希望郷いわて国体少年男子サッカー競技の市民協働による円滑な運営、開催地の魅力発信のため、関係機関・団体に組織した実行委員会に負担金を支出し、第51回全国社会人サッカー選手権大会(リハーサル大会)に係る仮設設備の設営と撤去等を業務委託した。

会場設営にあたっては、結果として4,136千円の増額変更契約が行われていたが、平成28年度の契約に際しては、この経験を踏まえ委託明細書を精査の上、契約を行う必要があると思われ、岩手国体成功に向けて万全な準備がなされることを望む。

#### 4 教務課

所管事務は、教育委員会の会議に関する事、教育行政の長期かつ総合的な計画の策定に関する事、児童生徒の就学に関する事、就学困難な児童生徒の就学援助に関する事、児童生徒の交通安全対策に関する事、市立学校の設置、管理及び廃止に関する事、教育環境（校舎等）整備に関する事、教材の整備に関する事、奨学生選考委員会及び奨学資金貸与に関する事等である。

##### ○就学援助費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市内に住所を有し小中学校に在籍、又は市外に住所を有し市内の小中学校に在籍する児童生徒のうち、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することを目的としている。支給対象者は平成27年12月15日現在、要保護（生活保護世帯）及び準要保護の児童・生徒、小学校145人（うち要保護3人）、中学校92人（うち要保護3人）の合計 237人（うち要保護6人）である。事務処理が多く職員の苦勞が伺えたが、適切に作業は進められていた。

##### ○通学対策費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成25年4月の中学校再編成前に長期委託契約したスクールバス運行は、3年間の経過し本年2月に新たに入札予定であるとのこと。3年間の運行実績をベースに、運転手の健康診断結果の提出や避難訓練なども仕様書への追加を検討しているとのこと。最近、バスの事故報道が多くあることから、不測の事態（災害、事故）に対応する管理マニュアル（案）も作成されており、通学時の児童・生徒の安全確保を図るための努力が伺えた。

#### 5 学校教育課

所管事務は、市立学校の組織編成及び管理運営に関する事、市立学校職員の任免、分限、懲戒及び服務に関する事、市立学校の学級編成に関する事、就学指導・相談に関する事、特別支援教育に関する事、学校評価に関する事、学校の教育課程及び学習指導その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関する事、市立学校職員の研修に関する事、特色ある学校づくり事業に関する事等である。

##### ○遠野わらすっこ「夢の教室」事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

公益財団法人日本サッカー協会が運営している「JFAこころのプロジェクト」を活用し、人格形成において重要な時期とされる小学校5、6年生の児童を対象として夢先生の授業を通し夢や目標を持つことの大切さを学ぶための事業であり、事

業に関する委託費は適正に執行されていると認められる。この事業は平成21年度から実施され、平成27年度は市内8校、149人の児童が授業を受けている。今後も、将来を担う遠野のわらすっこの夢を育むために、事業が継続的に展開されることを望む。

#### ○外国人講師招へい事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため外国語指導助手（ALT）1名を配置し、基礎学力の向上に資するとともに生きた英語に接する機会を提供し、児童生徒の外国語コミュニケーション能力の基礎を育むことを目的としている。平成27年度は小学校86日、中学校103日の訪問予定であり、ALT派遣については（株）インタラック盛岡支店と労働者派遣契約を締結していた。仕様書で要求している書類に一部不足があったことから、今後は提出書類の確認を徹底されたい。

### 6 教育研究所

所管事務は、教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査並びに研究に関すること、教育に関する実態の調査に関すること、児童生徒の教育相談に関すること、教育関係資料の収集及び紹介に関すること、教育関係職員の専門研修に関すること等である。

#### ○学力向上対策事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

学力向上のため、「義務教育9年間を見とる体制の構築」「中学校区ごとに、小・中学校の更なる連携の推進」の2つの視点をもとに、教育相談員4名（教委1名、中学校各1名）を配置したほか、標準学力検査（NRT）及び知能検査の実施にあたっては、同じ中学校区内の小中学校が連携して研究体制を構築し、研究部会を開催するなど、授業力向上に継続的に取り組んでいる。また学力向上に係る方向性を確認するため、教育研究発表会の開催、学校公開研究会を3校で実施していた。

今後更に、放課後子どもプランや地域教育協議会などとも連携して、学力向上の成果が表れることを期待したい。

## 7 文化課

所管事務は、文化遺産の保護及び振興並びに普及に関すること、文化に係る施策の企画及び連絡調整に関すること、遠野遺産認定条例に規定する遠野遺産に関すること、郷土芸能の振興に関すること、図書館及び博物館に関すること等である。

### ○文化的景観保存事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成25年3月に国選定重要文化的景観に選定された「遠野 土淵山口集落」にある構成要素「山口の水車小屋」の保存修理にあたり活用方法と改修方針について地域とのワークショップを行い、改修計画の策定、保存修理工事を行っていた。

改修工事は平成28年3月18日完成予定とのこと。重要文化的景観保護の必要性を重視し、整備計画策定業務のひとつひとつに吟味された経緯が伺えた。

整備後の水車が地域の日常の暮らしに根ざした建物として生かされていくことを望む。

### ○博物館費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

博物館及び博物館資料の管理、特別展「遠野物語と妖怪」(平成27年7月24日～9月23日 期間中入館者数8,492人)、企画展「本田健展一山あるき、遠野一」(平成27年10月9日～11月23日 期間中入館者数2,718人)、8月1日に「妖怪を描こう」、9月21日に怪フォーラム関連イベントナイトミュージアム等に係るチラシ・ポスター作成や出品物運搬を業務委託していた。

特別展・企画展ともに博物館事業として充実した内容であると認められ、今後訴求ターゲットの分析を進めるなどして、本館・分館ともに更に市内外からの注目度が高い施設となる事を期待したい。

## 8 調査研究課、市史編さん室

所管事務は、遠野の文化に係る総合的な施策の推進に関すること、遠野文化研究センター運営委員会に関すること、遠野の文化に係る市民団体に関すること、遠野文化賞に関すること、その他遠野の文化の調査研究に関すること、市史編さんに関すること等である。

### ○「遠野市史」編さん事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市の歴史や文化を明らかにし、郷土に対する市民の理解と愛着を深め、文化の向上やまちづくりに役立てることを目的に、後世に引く継ぐ資料を収集整理し、

市史編さんを行うもの。スケジュールとしては平成27年度から、市史編さん委員会の設置、資料調査を行い、平成31年度に現代編、平成38年度に通史編、平成39年度に民俗編を刊行するほか、遠野南部家史料を収めた資料編は随時刊行する予定であるとのこと。後世に引き継ぐべき市史編さんの企画は大いに評価出来る。

今後は、市民が広く積極的にこの事業に関わることが出来るようPRを続けていくことを望む。

## 9 子育て総合支援課

所管事務は、少子化対策及び子育て支援の総合的な施策の推進に関する事、市立保育所・幼稚園の管理運営に関する事、私立幼稚園の振興に関する事、保育所における保育に関する事、児童館及び児童遊園の整備及び管理に関する事、認可外保育施設に関する事、遠野市わらすっこ支援員会に関する事、療育支援教室の運営に関する事、児童館及び母親クラブの運営及び指導に関する事、ひとり親家庭及び寡婦の福祉向上に関する事、児童福祉施設への措置等に関する事、家庭児童相談及び女性相談に関する事等である。

### ○わらすっこプラン推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

このプランでは、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画(遠野わらすっこプラン)に基づき、市内の子どもや保護者、子どもの権利を保障する大人(地域、学校、事業者)を対象として、わらすっこ条例の普及啓発事業、わらすっこ基金による助成事業を展開している。11月末現在の基金助成事業決定状況は4団体、679千円であるが、2団体は事業が完了しており、そのうち一つは定員を大幅に上回る申し込みがあった。他にも基金を財源にしたブックスタート事業など4事業を実施しており、基金は有効に活用されていると認められる。

また、保育料の過年度未収分の徴収にあたって努力していることを評価したい。

### ○わらすっこの育ち療育支援事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

障がい及び発達の違い等がある就学前の児童に対する、個別・小集団活動(キッズ体操等)を取り入れた療育支援教室の実施や、就学している障がい児が放課後等に社会福祉事業所に通所(日中一時支援)する際の保護者の負担軽減を図る等の事業を行っている。

のびっこ教室、ジャンプ教室の教室指導員(非常勤)との連携によって、児童の発達が認められることから、今後も継続して事業を行っていくことが必要と認められる。

## 10 総合食育推進課、学校給食センター

所管事務は、食育推進計画に関すること、食育の普及事業に関すること、食育団体に関すること、給食センターの施設及び設備の管理に関すること、給食計画の運営に関すること、給食の栄養献立・栄養指導及び衛生指導に関すること、給食の配送及び回収に関すること、給食費の収納及び未納対策に関すること、地産地消給食に関すること等である。

### ○学校給食事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

学校給食食材に地場産物を使用するため、関係課と連携し産直組合との会議開催や、給食メニューの工夫、安心安全確保のため残留農薬の抜き打ち検査等を実施していた。地場産物の使用量増大に向け、今後更に食材の取引先・各学校・関連他部門との連携を強めて欲しい

また、調理・配送委託の契約更新にあたっては入札執行前に、仕様書の遵守事項として各記録簿の提出に関することや、災害時の救援活動に関する事項等について十分検討されたい。

## 11 地区センター(地区公民館)

所管事務は、市民憲章の普及推進に関すること、市政懇談会に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、青年学級・婦人学級・高齢者学級・家庭教育学級その他の学級講座の開催に関すること、体育・スポーツ・レクリエーション活動に関すること、社会教育団体、地域団体の連絡協調に関すること等である。

### ○生涯学習のまちづくり推進事業費

〔指摘事項〕

各地区センターは事業をそれぞれ創意工夫して実施していたが、講師に対する報酬・旅費の支払について統一されていない実態であることや、支払に遅延が見受けられることから、迅速かつ適正な事務執行を徹底されたい。

事業実績報告書については統一した様式とし、事業内容の充実を図るため、参加人数、参加者の年代、性別、参加理由、参加後の要望、過去の企画への参加歴等々について簡単なフォームで把握・分析し、地区センター間で情報共有出来るように生涯学習スポーツ課と連携を取りながら検討されたい。

各地区センターの「生涯学習のまちづくり推進事業」、その他運営についての監査結果は、次のとおりである。

地区センター	監 査 意 見 等
遠 野	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 年間10回開催の高齢者教室「鍋城大学」は、健康の保持増進・交流・趣味の充実を図る場として長年に渡り継続して取り組まれており評価できる。 今後は、例えば2月に開催予定の「家族でひなまんじゅう教室」などの事業を「鍋城大学」のオープンキャンパスとして位置づけることで、より多くの方が地区外からも参加できる仕組みが作れると思われるので、検討されたい。</p>
綾 織	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望等〕 10月19日「集え！綾織っ子！光るどろだんご教室」に児童21人が参加。6月26日ほか2日間「女性リーダー研修会」に延べ66人が参加、また1月15日には小正月行事が開催され、子供会から老人クラブまで多くの町民が参加していた。「光るどろだんご」は本年で3年連続の人気企画とのことであるが、参加児童の感想などをまとめた上で、事業展開を進めてほしい。 書類の整備は改善されてきているが、支払遅延の防止、学校施設使用料等の徴収に努めて欲しい。</p>
小 友	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 10月5日「ヨガ教室」に15人参加。11月19日「ちぎり絵教室」に30人参加。11月に3日間開催したヒップホップダンス教室には延べ51人参加し、その中の児童が歳末助け合い演芸会に出演していた。また2月に体験茶道教室を開催予定である。高齢者、児童、それぞれのニーズに合わせて教室を開催し、参加者が楽しんで受講している様子が伺えた。 講師に対する旅費支給については基準どおり行って欲しい。</p>
附 馬 牛	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 11月29日「クラフトアート教室」に12人参加。12月17日「ジェルキャンドル教室」に33人参加。12月26日「正月飾りアレンジメ</p>

	<p>ント教室」に20人参加。その他に小正月行事を開催していた。各教室の収支決算資料の摘要欄には参加者の反応なども記載されており、次年度以降の事業計画時の参考になる資料づくりと認められる。但し事業実績報告書はなかったため、改めて事業実績書の作成を望む。</p>
松 崎	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 11月25日ほか2日間「つるしびな教室」に延べ26人参加、また1月14日「国体おもてなし料理教室」に10人参加。事業実績報告書から参加者の交流、技術の向上などがよく図られていると認められた。また各事務書類の記帳・整備等は、正確・適切に行われており評価に値する。</p>
土 淵	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 12月17日開催の「クリスマスアレンジメント教室」は附馬牛・松崎町民にも告知したが参加は無く、10人参加であったとのこと。今後は2月27日に「イタリアン料理教室」を開催予定であるが、教室の開催により多くの参加者の交流を図り趣味の幅を広げることが目的であることから、今後は事業実績報告書の作成で参加人数が少ない理由を振り返り、次年度以降の事業計画に役立てることが望まれる。 また施設使用料等は早期の徴収に努めて欲しい。</p>
青 笹	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 長年継続している「笹っこ習字教室」は年間19回の開催予定である。11月27日「つるしびな教室」に12人参加。1月14日「あおざさ子育て村小正月行事」に127人が参加していた。各教室での活動は地域との連携が図られており世代間交流、伝承活動に積極的に取り組んでいると認められる。 今後は、支払遅延の防止、学校施設使用料等の適切な徴収に努めて欲しい。</p>

上郷	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 4月18日の上郷町地域づくり推進大会では、東日本大震災時に釜石東中学校長だった方を講師に講演を行った。11月18日には地域おこし協力隊(JOCA)による世界の国々の文化に関する講演を行った。また他にも、JOCAとの連携によるサモア、パプアニューギニアの大学生との交流事業や上郷小学校で開催した家庭教育ゼミナールでのJAXA小原氏の講演などの多彩な事業内容は、他に見られない独自の事業であると評価できる。</p>
宮守	<p>○生涯学習のまちづくり推進事業費 〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 児童を対象とした「森の学校稲荷穴塾」を2回開催し延べ114人参加。市民を対象とした「みやもり銀河カレッジ」は今年度内に3回開催予定である。 「森の学校 化石発掘体験」は他行事との関係で参加人数が集まらず中止したとのことである。当初計画が実施段階で変更された場合には、その経緯が明確にわかるようにすべきであり、更にもその「記録資料」を次年度計画の参考とすることを検討されたい。また支払遅延防止に努めて欲しい。</p>

12 小中学校(遠野北小学校、綾織小学校、小友小学校、宮守小学校、達曽部小学校、鱒沢小学校、遠野西中学校)

・備品購入、薬品管理について

学 校 名	監 査 意 見 等
遠野北小学校	<p>〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 物品購入に関わる事務処理は、適正に執行されていた。 薬品管理については、授業内容に基づき使用量の確認が毎月行われており評価出来る管理であった。</p>
綾織小学校	<p>〔指摘事項〕 特になし 〔意見・要望〕 物品購入に関わる事務処理は、適正に執行されていた。 薬品管理については、副校長先生が本年度台帳を作成し分かりやすく管理されていた。</p>

小友小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入が11月に行われていたことから、予算令達後、早めに品目を決定し、購入するよう希望する。平成26年度購入の図書管理システムについては、データ整備が終わり、先進的な活用がなされていた。 薬品は適正に保管されていた。今後は管理台帳を作成してより一層管理の徹底を図られたい。</p>
宮守小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 児童のために備品購入を早めに執行し、授業に活かされていた。薬品管理、理科備品については、管理台帳記録のほかに、保管状況をわかりやすく写真として残すなど他校の模範となる整備であった。</p>
達曽部小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入に関わる事務処理は、適正に執行されていた。 薬品は適正に保管されていたが、今後は管理台帳を作成してより一層管理の徹底を図られたい。</p>
鱒沢小学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入に関しては、職員からの希望に対し必要性や経年状況等を加味して優先順位が決められ、決定内容のフィードバックも適切に行われており評価できる。 薬品は適正に保管されていたが、今後は管理台帳を作成してより一層管理の徹底を図られたい。</p>
遠野西中学校	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 物品購入にあたっては見積依頼書の送付から適正に事務が行われており評価できるが、購入時期をもう少し早くするような取り組みを希望する。 薬品は適正に保管され、薬品一覧表も作成されていた。</p>

## ○その他\_\_小中学校の運営等について

### ・ 全般

各学校とも「学びフェスト」を基に、学校と家庭並びに地域との連携を、またそれぞれの状況に応じて、複式学級への対応、不登校児童生徒への対応などに関して職員間の連携を密にして学校運営に取り組んでいることが伺えた。

### ・ いじめ防止対策について

各学校とも、児童生徒及び保護者へのアンケートの実施、個別面談、職員間の意識共有などで、また小学校においては児童館との連携など重大事案となる前に解決を図っている状況が伺えた。

また、遠野西中学校においては「いじめ撲滅プロジェクト」という先駆的な取り組みが評価され、文部科学省の「全国いじめ問題子供サミット」へ岩手県代表としての参加が決定していた。

この全国サミットへの参加経験の共有や、それぞれの学校独自のノウハウ、を活かした方法で、今後もいじめ防止に取り組まれることを期待する。

### ・ スクールバスの運行について

スクールバスを利用していない綾織小学校を除く各小中学校とも、乗降車時の留意事項については丁寧な指導が行われ、また小学校においては児童館との連携も行われていた。今後も教育委員会と連携を図りより一層の安全確保に努められたい。

### ・ 薬品管理

薬品は適正に保管されていた。

[意見・要望等]

薬品台帳の整備は学校で相違があったので、教育委員会と連携し台帳様式を統一して、全学校で共通の台帳管理を行うことを望む。

### ・ 校内の整理整頓について

学校生活を送るうえでの基本である整理整頓が各学校とも良くなされており、児童・生徒が気持ち良く授業を受けられる状況であると認められる。

【共通事項】（学校を除く課等）

1 各課で該当する使用料・手数料

市民協働課の市民会館使用料（過年度分 114,650 円）の徴収のほか、地区センターの施設使用料等の迅速な徴収について更なる努力を望む。

2 現金の保管状況（通帳）

通帳の保管状況は、平成27年11月30日現在、次表のとおりである。地区センターで保管している各団体通帳、会計事務の状況についても監査した。通帳ごとに出納簿で管理していたが、一部出納簿に記載誤りがあった。

通帳保有数が多い事から、定期的にチェックするなど、今後もより一層厳正に取り扱われたい。

今回監査対象18課等で計95冊（前年度から通帳保有数は2冊増加）、合計金額が22,119,408円となっている。

No.	課 等 名	通帳冊数		預金残高(円)
		現存数	増減	
1	市民協働課	9	1	3,897,781
2	生涯学習スポーツ課	7	-	1,850,520
3	国体開催推進室	1	-	2,610,878
4	教務課	1	-	20,000
5	学校教育課	2	1	67,151
6	文化課	1	-	0
7	調査研究課	1	-	0
8	子育て総合支援課	1	-	0
9	学校給食センター	1	-	0
10	遠野地区センター	7	-	1,643,441
11	綾織地区センター	7	-	1,307,567
12	小友地区センター	12	1	1,541,870
13	附馬牛地区センター	7	△1	1,052,878
14	松崎地区センター	11	-	2,540,835
15	土淵地区センター	8	-	1,185,059
16	青笹地区センター	6	-	2,294,801
17	上郷地区センター	3	-	1,827,753
18	宮守地区センター	10	-	278,874
	合 計	95	2	22,119,408

### 3 郵便切手類の保管及び受払

特に問題点は見受けられなかった。

### 4 物品の管理及び出納

物品の管理及び出納については、備品管理一覧表に基づき平成27年度に備品購入のあった4課の内11品を選択して購入手続き書類、支出伝票の監査をした結果、特に問題点は見受けられなかった。

子育て総合支援課では、平成28年度から市立幼稚園・保育所3園が遠野市保育協会へ移管されることから、備品の見直しと備品台帳の整理が行われていた。

### 5 車両の運行管理

特に問題点は見受けられなかった。